

平成 26 年度 (2014 年度) 決算の概要

1. 収益的収支

水道事業収益は、根幹となる給水収益が1.0%減少したものの、営業外収益で新会計基準の適用により長期前受金戻入を算入したため、全体としては前年度と比較して、2.3%の増加となりました。

一方、水道事業費用は職員給与費が13.3%減少したほか、修繕費や工事請負費、支払利息等も減少しましたが、新会計基準の適用による特別損失があったため、全体としては前年度と比較して12.5%増加となりました。これにより、平成26年度は単年度で2億6,265万752円の赤字となりました。

2. 資本的収支

建設改良工事として、送配水管布設工事10億1,658万4,476円や浄配水施設改良工事5億5,298万3,951円を実施しました。また、基幹管路整備実施設計や配水支管設計、施設耐震化等改修工事に伴う工事監理などの委託料8,608万9,974円や材料費等を執行しました。これらの財源としては、企業債の新規発行や出資金の確保とともに、建設改良積立金などの自己資金で充当しました。

補てん財源内訳

損益勘定留保資金	968,230,023円
減債積立金	20,000,000円
建設改良積立金	540,000,000円
消費税及び地方消費税資本的収支調整額	118,658,567円
計	1,646,888,590円

1. 収益的収支

(単位：千円、税抜、%)

科 目	26年度決算	25年度決算	対前年度比率
水道事業収益	6,203,604	6,066,294	2.3
給 水 収 益	5,437,156	5,493,267	1.0
加 入 金	229,290	208,230	10.1
長期前受金戻入	248,245	0	皆増
特 別 利 益	0	76,743	皆減
そ の 他	288,913	288,054	0.3
水道事業費用	6,466,255	5,748,183	12.5
職員給与費	961,359	1,108,381	13.3
受 水 費	2,080,422	2,067,713	0.6
動 力 費	211,053	175,125	20.5
修 繕 費	86,223	131,611	34.5
委 託 料	401,074	403,446	0.6
材 料 費	20,397	16,157	26.2
工事請負費	152,895	168,047	9.0
路面復旧費	101,857	99,819	2.0
賃 借 料	143,127	117,508	21.8
負 担 金	2,921	3,561	18.0
減価償却費等	957,936	935,937	2.4
支 払 利 息	236,132	250,787	5.8
そ の 他	266,341	270,091	1.4
特 別 損 失	844,518	0	皆増
差 引	262,651	318,111	-

2. 資本的収支

(単位：千円、税込、%)

科 目	26年度決算	25年度決算	対前年度比率
資本的収入	781,500	737,948	5.9
企 業 債	600,000	400,000	50.0
工事負担金	22,140	12,679	74.6
開発負担金	129,360	134,520	3.8
投資償還金	0	3,000	皆減
補 助 金	0	51,630	皆減
出 資 金	30,000	136,119	78.0
資本的支出	2,428,389	2,210,465	9.9
事 務 費	165,514	146,326	13.1
工 事 費	1,664,208	1,485,214	12.1
量 水 器	10,004	7,796	28.3
車両運搬具	583	0	皆増
工具器具備品	19,796	13,608	45.5
企業債償還金	565,161	557,521	1.4
国庫補助金返還金	3,123	0	皆増
差引過不足	1,646,889	1,472,517	-

3. 業務量

項 目	26年度決算	25年度決算	対前年度比率
総 配 水 量	41,723,400 m ³	41,989,859 m ³	0.6
有 収 水 量	40,044,624 m ³	40,364,930 m ³	0.8
給 水 人 口	362,428 人	359,508 人	0.8
給 水 戸 数	163,891 戸	161,671 戸	1.4

新旧会計基準による平成26年度(2014年度)決算額比較(収益的収支)

(単位:円、税抜)

	平成26年度決算額 (新会計基準)	平成26年度決算額 (旧会計基準による試算)	備考
水道事業収益	6,203,604,118	5,955,358,744	
営業収益	5,673,639,352		
給水収益	5,437,156,422	同左	
その他営業収益	236,482,930		
営業外収益	529,964,766	281,719,392	
加入金	229,290,000	同左	
受取利息	1,194,314		
長期前受金戻入	248,245,374	0	みなし償却制度の廃止による
雑収益	42,107,078		
他会計補助金	9,128,000	同左	
特別利益	0		
固定資産売却益	0		
水道事業費用	6,466,254,870	5,820,055,673	
営業費用	5,379,470,431	5,577,789,234	
浄水送水費	2,976,561,718	3,026,561,718	修繕引当金(従前の考え方)の計上による
配水給水費	705,400,539		
給水工事費	49,419,603	同左	
業務費	377,979,949		
総係費	306,556,637	466,556,637	退職給付引当金の引当方法変更による
減価償却費	931,140,754	919,459,557	みなし償却制度の廃止による
資産減耗費	26,795,298		
その他営業費用	5,615,933	同左	
営業外費用	242,266,439		
支払利息及び企業債取扱諸費	236,131,930	同左	
雑支出	6,134,509		
特別損失	844,518,000	0	
その他特別損失	844,518,000	0	
賞与等引当金繰入額	65,488,000	0	
退職給付引当金繰入額	761,480,000	0	
貸倒引当金繰入額	17,550,000	0	引当金の計上による

当年度純利益(又は当年度純損失)	262,650,752	135,303,071
------------------	-------------	-------------

過去10年間 収益的収支の状況

(単位：千円、税抜)

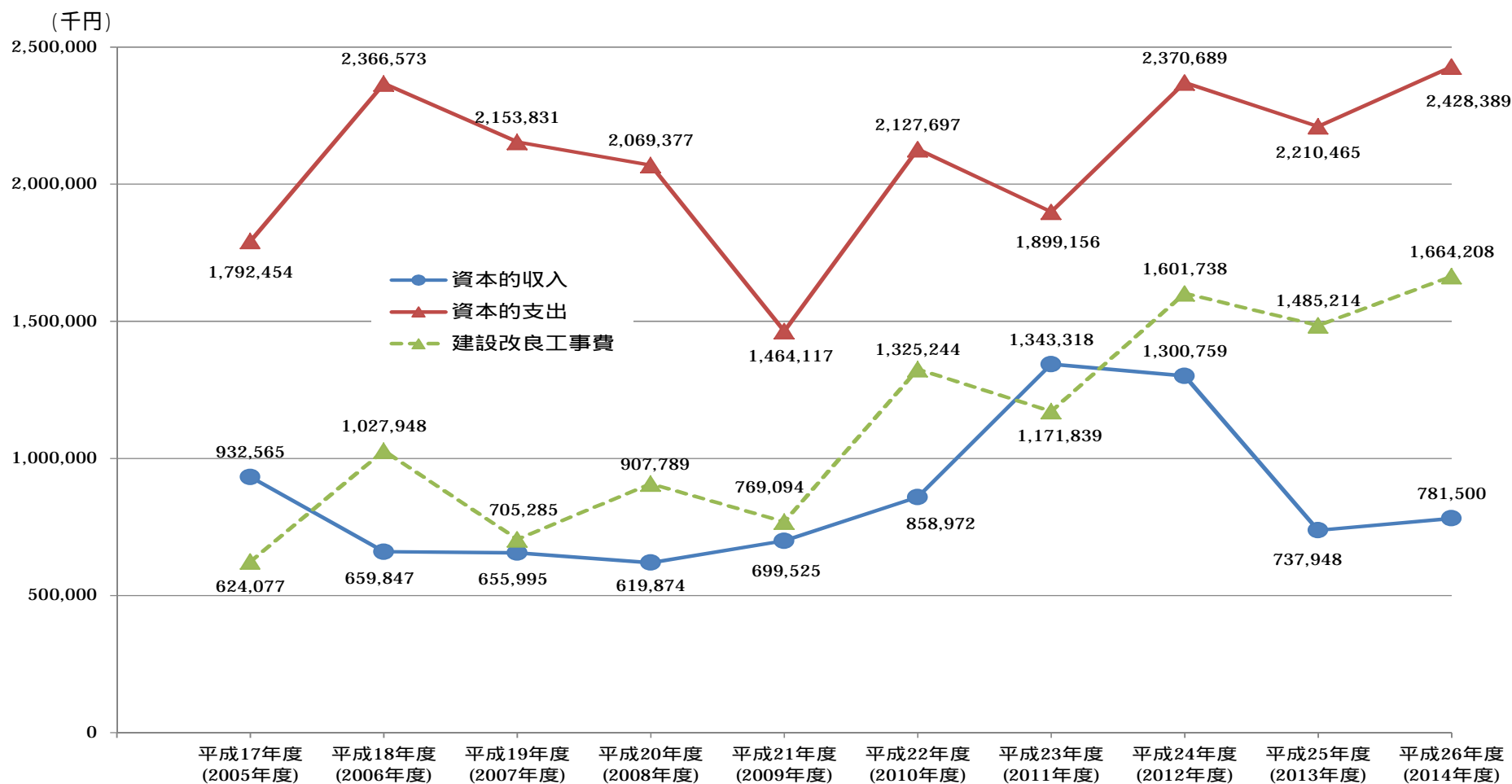
項目	平成17年度 (2005年度)	平成18年度 (2006年度)	平成19年度 (2007年度)	平成20年度 (2008年度)	平成21年度 (2009年度)	平成22年度 (2010年度)	平成23年度 (2011年度)	平成24年度 (2012年度)	平成25年度 (2013年度)	平成26年度 (2014年度)
水道事業収益	7,026,628	6,850,347	6,598,399	6,443,412	6,196,667	6,249,618	6,271,218	6,120,854	6,066,294	6,203,604
水道事業費用	6,626,590	6,499,706	6,384,436	6,242,541	6,185,748	5,930,448	6,004,706	5,856,579	5,748,184	6,466,255
純損益	400,038	350,641	213,963	200,871	10,919	319,170	266,512	264,275	318,110	△262,651



過去10年間 資本的収支の状況

(単位：千円、税込)

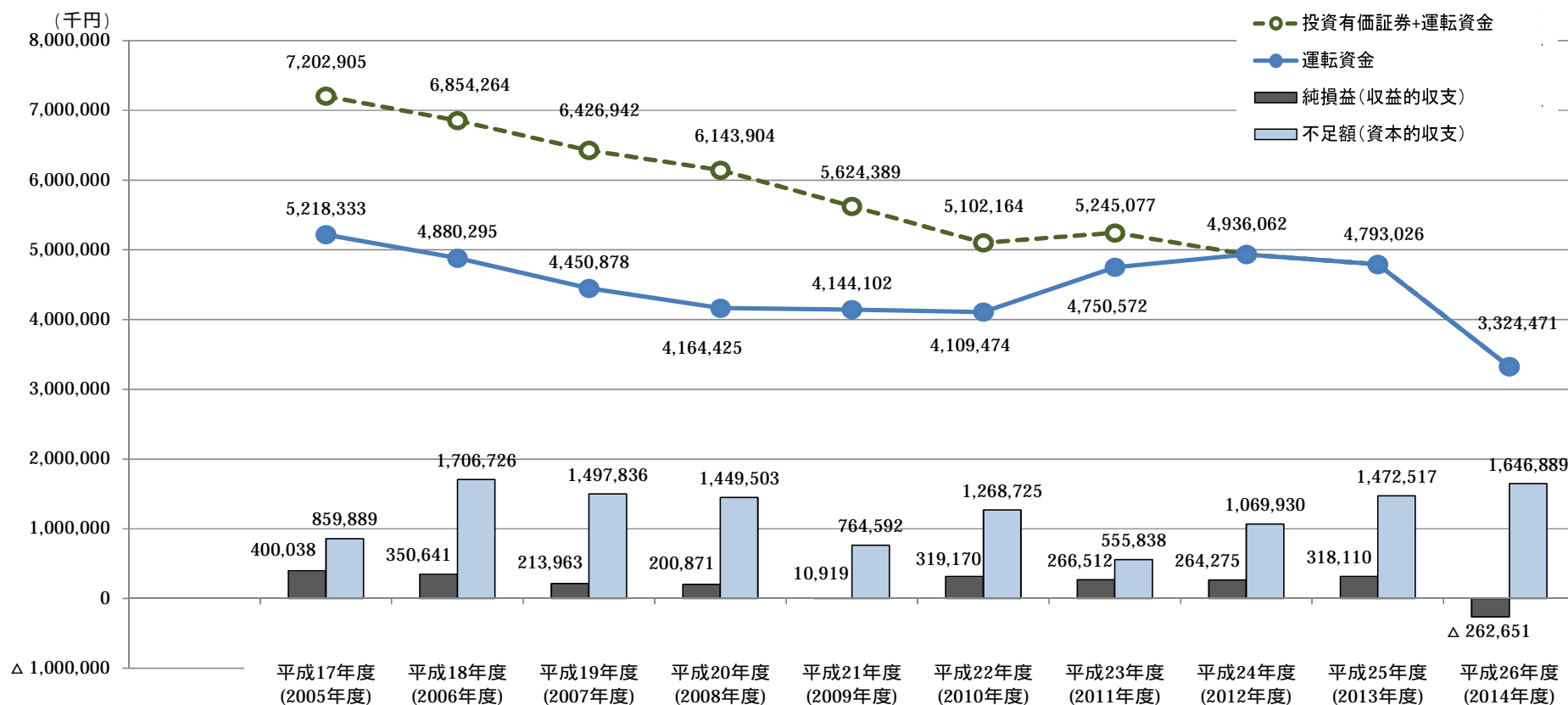
項目 \ 年度	平成17年度 (2005年度)	平成18年度 (2006年度)	平成19年度 (2007年度)	平成20年度 (2008年度)	平成21年度 (2009年度)	平成22年度 (2010年度)	平成23年度 (2011年度)	平成24年度 (2012年度)	平成25年度 (2013年度)	平成26年度 (2014年度)
資本的収入	932,565	659,847	655,995	619,874	699,525	858,972	1,343,318	1,300,759	737,948	781,500
資本的支出	1,792,454	2,366,573	2,153,831	2,069,377	1,464,117	2,127,697	1,899,156	2,370,689	2,210,465	2,428,389
建設改良工事費	624,077	1,027,948	705,285	907,789	769,094	1,325,244	1,171,839	1,601,738	1,485,214	1,664,208



過去10年間 運転資金の状況

(単位：千円)

項目	年度	平成17年度 (2005年度)	平成18年度 (2006年度)	平成19年度 (2007年度)	平成20年度 (2008年度)	平成21年度 (2009年度)	平成22年度 (2010年度)	平成23年度 (2011年度)	平成24年度 (2012年度)	平成25年度 (2013年度)	平成26年度 (2014年度)
運転資金		5,218,333	4,880,295	4,450,878	4,164,425	4,144,102	4,109,474	4,750,572	4,936,062	4,793,026	3,324,471
投資有価証券 + 運転資金		7,202,905	6,854,264	6,426,942	6,143,904	5,624,389	5,102,164	5,245,077	4,936,062	4,793,026	3,324,471
純損益 (収益の収支)		400,038	350,641	213,963	200,871	10,919	319,170	266,512	264,275	318,110	262,651
不足額 (資本の収支)		859,889	1,706,726	1,497,836	1,449,503	764,592	1,268,725	555,838	1,069,930	1,472,517	1,646,889



管理指標(第2期アクションプラン)の進捗状況(その1)

方針	施策	事業	項目	単位	1 優位性	2 P I	積算方法	基準年度 平成25年度 (2013年度)	進捗状況 平成26年度 (2014年度)	目標年度 平成29年度 (2017年度)	PI公表類似 団体平均 (H25年度)
(1) 安全でおいしい水の供給											
1	1	1	水質基準不適合率	%		1104	水質基準不適合回数/全検査回数×100	0.0	0.0	0.0	0.0
1	1	1	水源の水質事故数	件		2201	年間の水源地水質事故数	0.0	1	0.0	0.8
1	1	2	管末における残留塩素濃度年間平均値 (法定:0.1以上 目標値:1以下 おいしい水の要件:0.4以下)	mg/L		-	残留塩素濃度年間平均値(10か所×12か月)	0.47	0.47	0.40	-
1	1	2	総トリハロメタン濃度目標値達成率 (水質基準値:0.1以下 吹田市目標値:0.02以下)	%		-	年間総トリハロメタン目標値達成回数/年間総トリハロメタン総測定回数(10か所×12か月)×100	93.3	80.0	100.0	-
1	1	2	アンケートに見る水道水の安心度	%		-	安心して利用の回答/アンケート回答件数×100	64.0	87.0	70.0	-
1	2	1	鉛製給水管率 3	%		1117を 援用	鉛製給水管使用件数/給水件数×100	16.1	13.5	8.0	-
1	3	1	直結給水管率 3	%		1115を 援用	直結給水戸数/(直結給水戸数+受水槽給水戸数)×100	65.3	66.1	70.0	-
1	3	2	貯水槽水道指導率	%		5115	貯水槽水道指導件数/貯水槽水道総数×100	33.4	35.1	40.0	13.8
(2) 安定した水道システムの確立											
2	1	2	自己水比率	%		-	自己水量/総配水量×100	34.1	38.8	40.0	-
2	1	2	地下水源率	%		-	地下水量/総配水量×100	12.2	13.1	13.0	-
2	2	1	配水池耐震施設率	%		2209	耐震対策の施されている配水池容量/配水池総容量×100	63.8	84.9	90.0	53.4
2	2	4	経年化施設率	%		2102	経年化年数を越えている電気・機械設備数/電気・機械設備の総数×100	71.1	68.4	71.1	44.9
2	3	1	基幹管路の耐震化率	%		2210を 援用	耐震基幹管路延長/基幹管路総延長×100	35.0	36.4	42.5	32.7
2	3	1	管路の耐震化率	%		2210	耐震管延長/管路総延長×100	11.9	13.1	16.5	19.4
2	3	1	重要給水施設管路耐震化適合率(箇所比)	%		-	管路の耐震適合性を有する重要給水施設箇所数/重要給水施設箇所数	3.0	6.0	8.8	-
2	3	3	経年化管路率	%		2103	法定耐用年数を越えた管路延長/管路総延長×100	35.1	36.4	37.0	14.0
2	3	3	管路の更新率	%		2104	更新された管路延長/管路総延長×100	1.03	0.95	1.10	0.9
2	3	3	管路の事故割合	%		5103	管路の事故件数/管路総延長(100km)×100	6.3	6.6	5.0	6.2
2	4	1	給水拠点密度	箇所/100km ²		2205	配水池・緊急貯水槽数/給水区域面積×100	19.4	19.4	38.8	20.9

1 優位性「」は数値が高い方が望ましい場合、「」は数値が低い方が望ましい場合

2 PI = Performance Indicator

日本水道協会が平成17年1月に制定した水道事業ガイドラインに定められている137項目の業務指標

3 第1期アクションプランではPIに基づき年度当初の数値としていましたが、第2期アクションプランでは当該年度の実績を反映させるため年度末の数値としました。

PI公表類似団体

給水人口30万人以上50万人未満、自己水比率30%以上100%未満でPIを公表している15水道事業者。

八戸圏域水道事業団、高崎市、前橋市、横須賀市、豊橋市、一宮市、大津市、西宮市、奈良市、倉敷市、高松市、福山市、金沢市、柏市、岡崎市

管 理 指 標(第2期アクションプラン)の進捗状況(その2)

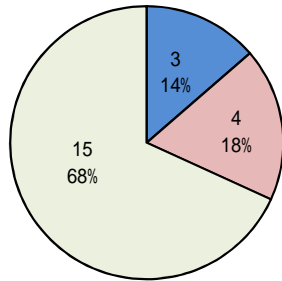
方針	施策	事業	項目	単位	1 優位性	2 P I	積算方法	基準年度 平成25年度 (2013年度)	進捗状況 平成26年度 (2014年度)	目標年度 平成29年度 (2017年度)	PI公表類似 団体平均 (H25年度)
(3) お客さまへのサービスの充実											
			お客さま満足度	%		-	満足しているの回答/アンケート回答総数×100	84.5	85.8	90.0	-
(4) お客さまとともに守りはぐくむ「地域の水道」											
4	1	1	水道施設見学者割合	人/1,000人		3204	見学者数/給水人口×1,000	10.5	12.4	12.0	10.3
4	1	1	水道事業に係る情報の提供度	部/件		3201	広報誌配布部数/給水件数	2.2	2.2	3.0	2.4
4	1	2	アンケート情報収集割合	人/1,000人		3203	アンケート回答人数/給水人口×1,000	6.09	5.24	7.00	1.17
4	2	1	直接飲用率	%		3112	(直接飲用回答数/直接飲用アンケート回答数)×100	50.1	51.8	68.0	64.6
(5) 環境に配慮した事業の推進											
5	1	1	総電力使用量	千kWh		-	全施設の電力使用量	11,374	11,796	12,900	-
5	1	1	総二酸化炭素(CO ₂)排出量(平成20年度比)	%		-	全施設の総二酸化炭素(CO ₂)排出量	7.8	3.9	9.0	-
5	1	1	自己水量1m ³ 当たり電力消費量	kWh/m ³		4001を 援用	全施設の電力使用量/年間自己水量	0.79	0.73	0.80	-
5	3	1	有収率	%		3018	年間総有収水量/年間総配水量	96.1	96.0	96.0	91.5
(6) 将来にわたり安定した経営基盤の構築											
6	1	2	給水原価	円/m ³		3015	(経常費用-(受託工事費+材料及び不用品売却原価+付帯事業費)/有収水量)	141.2	139.0	151.4	156.2
6	1	2	営業収支比率	%		3001	営業収益/営業費用	104.3	105.5	100.0	111.8
6	2	3	給水収益に対する企業債残高の割合	%		3012	企業債残高/給水収益	159.0	161.3	217.5	271.1
6	3	6	職員1人当たり有収水量	m ³ /人		-	年間総有収水量/損益勘定所属職員数	411,887	421,522	415,260	-
6	3	6	職員1人当たり給水収益	千円/人		3007	給水収益/損益勘定所属職員数	56,054	57,233	56,500	70,747
6	3	6	給水収益に対する職員給与費の割合	%		3008	職員給与費/給水収益	20.2	32.9	22.5	14.6
6	4	1	職員資格取得度	件/人		3101	職員が取得している法定資格数/全職員数	1.61	1.68	1.8	1.52
6	4	1	内部研修時間	時間/人		3104	職員が内部研修を受けた時間・人数/全職員数	5.7	9.5	7.5	6.3

市の水道水以外の水源をお使いのお客さまアンケート集約（中間報告）

平成27年(2015年)9月17日 現在

Q1 水道料金改定に関する認知度

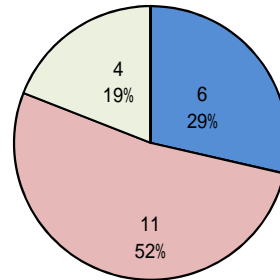
本市が水道料金の改定を予定していることをご存知ですか。



- 知っている
- 聞いたことがある
- 知らない

Q2 料金改定への関心度

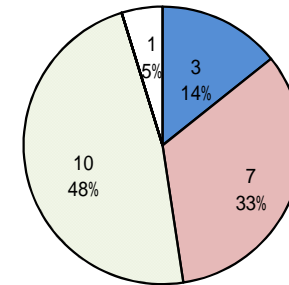
料金改定への関心度合いは、次のうちのどれに最も近いですか。



- 非常に高い
- 普通
- 関心は無い
- 高い
- 低い

Q3 水道料金の水準

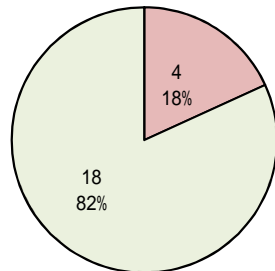
吹田市の水道料金の水準について、どう思われますか。



- 高い
- やや高い
- 普通
- やや安い
- 安い
- わからない

Q4 逡増度緩和の答申認知度

水道事業経営審議会の答申において、「逡増度の緩和」が提言されていることをご存知ですか。

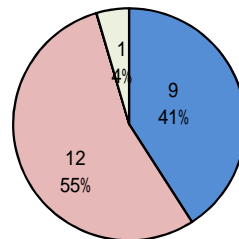


- 知っている
- 聞いたことがある
- 知らない

Q5～Q7 他水源の種別、用途及びバックアップ

Q5

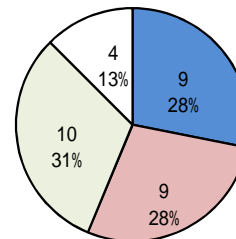
市の水道水以外に、どのような水源をお使いですか。



- 工業用水
- 地下水
- 雨水
- その他

Q6

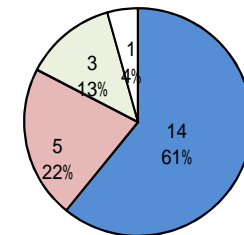
Q5の水源をどのような用途でお使いですか。



- 生活用水
- 工場用水
- 雑用水
- その他

Q7

不足する水を市の水道水で補う(バックアップ)ことを考えておられますか。

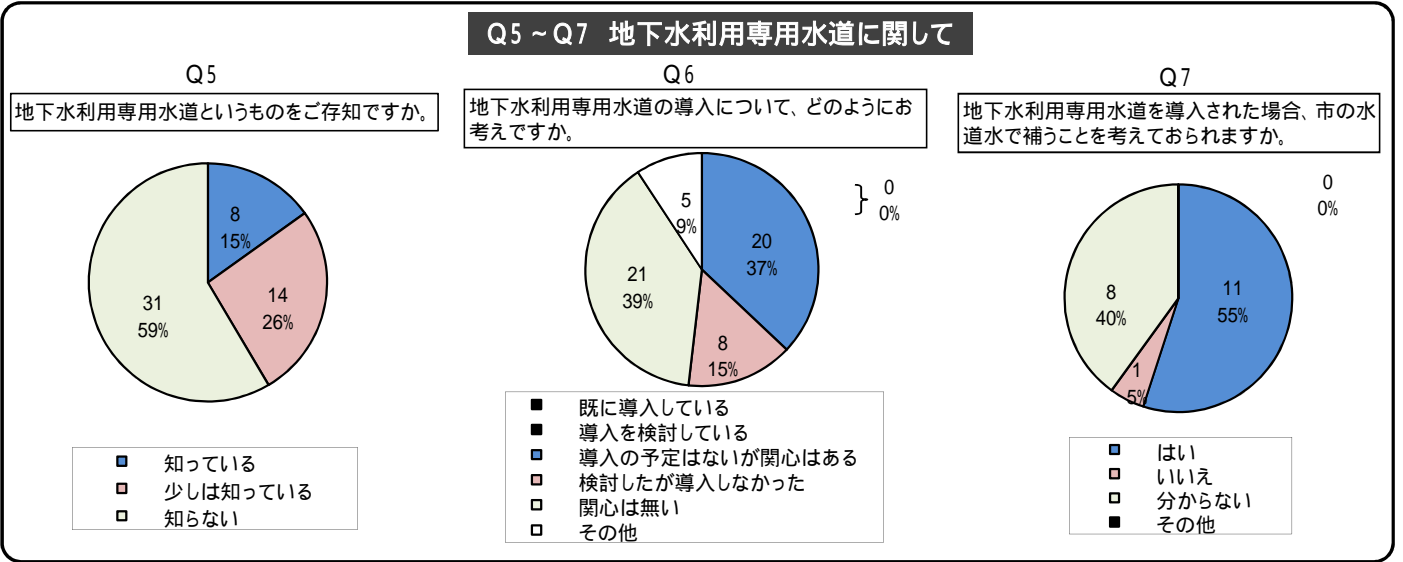
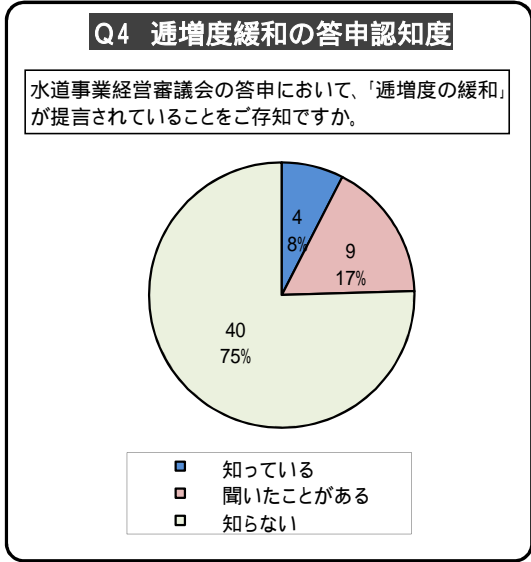
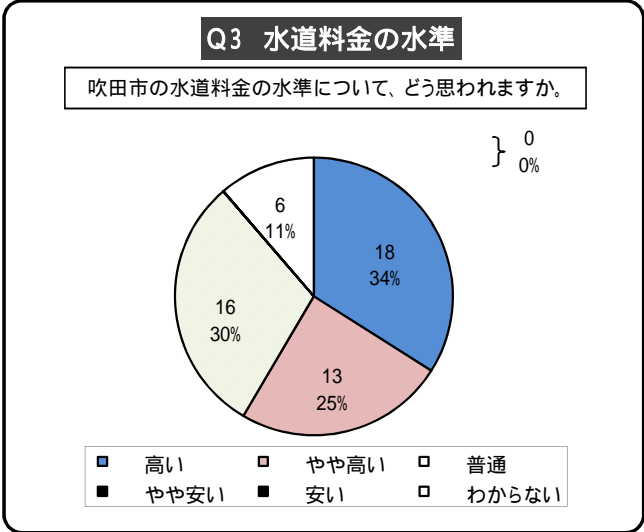
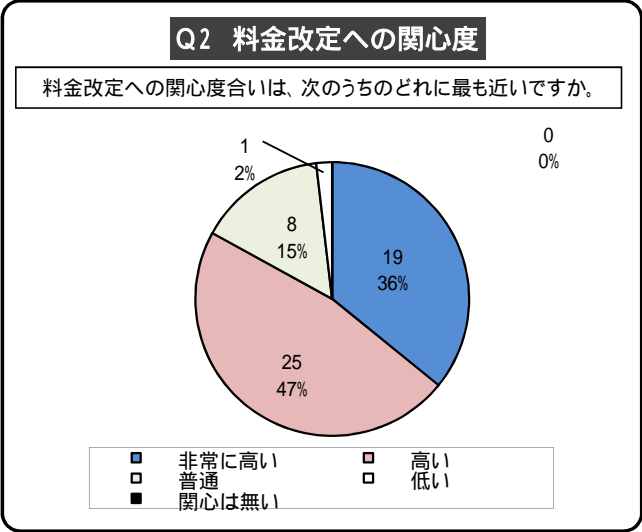
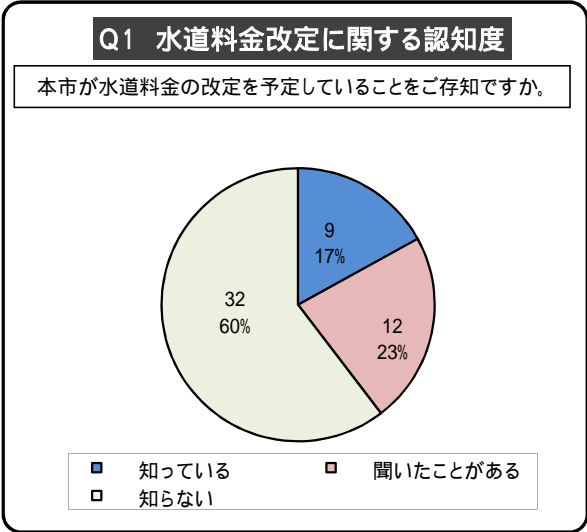


- はい
- いいえ
- 分からない
- その他

回答数 22 / 29
回答率 75.9%

大量使用のお客さまアンケート集約（中間報告）

平成27年(2015年)9月17日 現在



回答数 53 / 100
 回答率 53.0%